

## 伊勢神宮御遷宮と森林・林業

みなさんは、今年10月、三重県伊勢市にある伊勢神宮が、式年遷宮を迎えるのをご存知ですか？

遷宮とは、一定期間ごとに社殿その他を新しく作り替え、神霊を旧社殿から新社殿に遷す儀式のことを言います。

そのサイクルは、神社によって異なりますが伊勢神宮では20年に一度行われています。伊勢神宮が行う式年遷宮は一般的に“御遷宮”と呼ばれています。

御遷宮の歴史は、古く飛鳥時代にまで遡ると言われています。

この伊勢神宮御遷宮を軸に、人と森林とがどのようにかかわってきたのか、貴重な写真も交え、講演会が催されました。

講師をお世話いただいたのは、昨年4月に西日本唯一の林業専門大学校として開校した、京都府立林業大学校の只木良也学校長です。

御遷宮の歴史とともに、連綿と式年遷宮を続けるために人と森林がどのようにかかわってきたのか、森林の文化に造詣の深い只木先生ならではのわかりやすく、ウィットに富んだお話をご披露いただきました。



▲講師をお世話いただいた 只木良也学校長

印象的だったのは、「森林は木を使うことによって生かされる」ということ。森林を守るためには木を伐ってはいけない、と誤解されている向きもありますが、木をきちんと使うことの大切さを歴史が証明してくれています。

### 京都府森林組合連合会

〒604-8424

京都市中京区西の京樋ノ口町123

TEL (075)841-1030 FAX (075)841-1080

E-mail kyomori1@apricot.ocn.ne.jp